

千葉県の秋冬野菜、がんばってます！ 「千葉県秋冬野菜販売出陣式」の開催

公益社団法人 千葉県園芸協会
千葉県野菜園芸組合連合会

千葉県は、首都圏の消費地に位置しており、海に囲まれ冬でも温暖な気候から、全国有数の秋冬野菜の産地となっています。今の時期は「キャベツ」や「だいこん」など、多くの秋冬野菜が旬を迎えています。

そこで、11月22日（金）午前6時30分より、東京都中央卸売市場「大田市場」において、市場関係者を対象に、試食宣伝を行い、千葉県産秋冬野菜のPRを行いました。

今年は、9月から10月にかけて千葉県を襲った台風15号、19号、さらに台風21号による大雨など、今までにない被害の中、県内産地は復旧・復興に取り組んでいるところです。

主催は、(公社)千葉県園芸協会、千葉県野菜園芸組合連合会のほか、千葉県、全国農業協同組合連合会千葉県本部、「ちばエコ農業」生産者協議会により開催。県内関係JAも参加し、試食品は、キャベツやにんじん、ねぎを使った「ミネストローネ」、「コールスロー」、「和風だしスープ」の3品を提供しました。

また、展示品は県内JAの「ねぎ」「にんじん」「キャベツ」「だいこん」など38品目を展示。「ちばエコ」認証の「なばな」、「ちばGAP」認証の「こまつな」などもあわせてPRしました。卸売業者、買参人など市場関係者が多く集まり、にぎわいました。

その他、台風被害のあった「にんじん」「ねぎ」「トマト」では、順調な生育状況を写真で展示。当協会の間淵理事長より、産地の復旧・復興状況について紹介。台風・大雨に負けず、今まで以上の産地を目指し、一日も早い復旧・復興に取り組み、新鮮な野菜等を生産していくことを、市場関係者にPRしました。

あいさつの後、千葉県の森田知事のかけ声で「闘いの声」をあげ、これから旬となる千葉県産秋冬野菜や、県内産地の復旧・復興への取組やがんばる姿を、市場関係者に伝えることができました。



(公社)千葉県園芸協会 間淵理事長の産地PRと県内産地関係者



旬を迎える千葉県産「秋冬野菜」の展示



台風被害のあった「にんじん」「ねぎ」「トマト」は、順調な生育状況を写真で展示。

試食や展示など、多くの市場関係者が集まりました。

